愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	佐々木 裕美	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

国際化が叫ばれる中、意外に知らないのが自分の出身国の文化である。この演習では、中部圏の文化について探求して、考え、発信することを目的とする。中部圏は、西尾茶、有松絞り、瀬戸物、徳川園、美濃和紙、合掌造り、鵜飼、伊勢麻など、素晴らしい文化の宝庫であるので、扱うテーマは各自の興味に合わせて選ぶことが可能であるが、後期は、地域活性化を共通のテーマとして、美濃の古民家再生プロジェクトを中心とした「地域再生のために人を呼び込む」活動をする外部講師を招いて、伝統文化の保存と地域活性化を両立するための課題と解決について考える。 前期に続き、ノートを自分の視点でまとめて発表する活動を継続する。演習仲間とのシェアを通して、お互いの意見に耳を傾け、自分の意見を発信することが当たり前になる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回の授業では、各自がテーマに沿ってプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションが得意になるための講義と練習を重ねる。また、後期は、外部講師を招いて「地域活性化の課題と解決」（仮題）について学び、（各自の）地元の文化保存と地域活性化の課題と解決をテーマに各自が考え発表する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	夏休みの振り返り、目標設定 各自発表	２年次前半の振り返りをした後、後期の目標設定を行う ３分間プレゼンテーション	□
第2回	１週間の振り返り 自分が取り組むテーマ/地域/文化の選定	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 ３分間プレゼンテーション	□
第3回	１週間の振り返り 自分が取り組むテーマ/地域/文化について発表	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 ３分間プレゼンテーション	□
第4回	１週間の振り返り・１か月の振り返り 自分が取り組むテーマ/地域/文化について調べる	1か月の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンテーションノートの作成	□
第5回	１週間の振り返り 自分が取り組むテーマ/地域/文化について調べたことについてノート作成	前週の振り返り、課題の発見、行動 プレゼンテーションノートの作成方法説明	□
第6回	１週間の振り返り 自分が取り組むテーマ/地域/文化について調べたことについて発表	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聴き合う	□
第7回	１週間の振り返り 外部講師から出される課題についてグループ活動	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 グループで課題に取り組む	□
第8回	1週間の振り返り 外部講師から出される課題についてグループで考えた内容をノートにまとめる	2か月の振り返り、課題の発見、行動決定 グループで課題に取り組む	□
第9回	講演「地域活性化の課題と解決」（仮題） （日程は、前後する可能性がある。調整後に決定）	外部講師 講演を聴きながらノートを取って、自分の考えをまとめる	□
第10回	1週間の振り返り 外部講師の講演からの気づきを発表する	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 調べてポイントを書き出すノートを取る、調べて深める	□

第11回	1週間の振り返り、１分間プレゼンテーション 伝統文化保存と地域活性化、プレゼンテーション作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 各自またはグループでプレゼンテーション作成のための活動を行う	□
第12回	1週間の振り返り、１分間プレゼンテーション 伝統文化保存と地域活性化、プレゼンテーション作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 各自またはグループでプレゼンテーション作成のための活動を行う	□
第13回	１週間の振り返り、１分間プレゼンテーション 伝統文化保存と地域活性化、プレゼンテーション作成	各自またはグループで、プレゼンテーションを完成させる	□
第14回	１週間の振り返り、１分間プレゼンテーション 伝統文化保存と地域活性化について発表	各自またはグループで、完成させたプレゼンテーションを授業内で発表する	□
第15回	伝統文化保存と地域活性化について発表 １年の振り返り	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンテーションを行った内容についてレポート提出	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎日の記録を取ることが、授業の予習となる。（毎日10分程度） 各自またはグループで、自由に題材を選んで自分のプレゼンテーションを作成すること（30分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業の冒頭には、毎回前週の振り返りを行い、常に軌道修正を行いながら、翌週の行動を決定する。 すべてノートに書いて、行動し、振り返り、次につなげるPDCAを回していく。 従って、毎回の授業では、ノートに書くことと、簡単なプレゼンテーションをすることが求められる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◇ 2019全学共通DP1**	地域の文化について自ら興味を持って調べることを通して、学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	**◇ 2019全学共通DP2**	自分が手に入れた知識についてアウトプットすることを通して、基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	**◆ 2019全学共通DP3**	自分のことばで語ること、仲間のことばを聴くこと、さらには違う考えを語り合うことを通して、多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

１．毎日ノートを取って、毎回の授業でプレゼンテーションを行うことが求められる。２．個人またはグループで「地域と連携した活動・授業発表会」に参加するためのプレゼンテーションを完成させる。３．各自、レポートを提出する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で指示する	
2		
3		

4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		